

絆(Kizuna)

～ 八幡西中PTAたより ～

第1号

平成23年9月5日

近江八幡市立八幡西中学校PTA



PTA バザー協賛品協力のお礼とお願い

ありがとうございます



PTAバザー開催にむけて、協賛品のご提供をお願いしたところ、例年よりも多くの方々のご協力をいただきました。(全体比70%、前年度50-60%)みなさまに心よりお礼申し上げます。

売り上げ金の一部を東日本大震災義援金に回します。

ヨロシクネ!

- | | | | | |
|------|---|---------------|-----------|------|
| 1. 日 | 時 | 平成23年9月10日(土) | 西中祭(体育の部) | 昼食時間 |
| 2. 場 | 所 | 本校体育館 | | |



ご協力をよろしくおねがいします!



PTA 奉仕作業のお礼



雨天により安全も考慮したなかで、8/21(日)から8/28(日)に延期したにも関わらず多くの方々のご参加をいただき心よりお礼申し上げます。8/21(日)の連絡が間に合わずに、ご来校くださったみなさまには、申し訳ありませんでした。

また、町委員長、委員のみなさまには、早朝より、会員のみなさまへの連絡をありがとうございました。みなさまのおかげで、奉仕作業が無事に終了できましたことに感謝します。

ありがとうございます



2011 西中祭(文化の部) 10/5(水) 文化会館大ホール

今年度のPTA合唱は、創立30周年を記念して「北里女性コーラス」を招いて全員合唱(会場全体)を行いますので、ふるってご参加をお願いします! ぜひ、子どもたちの合唱コンクール、発足10周年を迎えられた「北里女性コーラス」の歌声をお楽しみください。詳細は、追ってお知らせします。**第2回ベルマーク回収を正面玄関で行いますのでご協力をお願いします!**



『つながろう! 家庭・地域・学校』

～支えあい、励ましあい、育てよう大きな力と強い絆を～

平成23年度 活動スローガン



保護者と教師の語る会(小学校区別懇談会)

ご参加をありがとうございます



わたしは、常々、「西中生は、やればのびる」と思っています。地域の学校としても高めたいという思いに反して、今年の入学率は88%、例年90%以上だったのが近年はそれを割り、私学を選択する生徒が増えている。あるとき、K学区の保護者から「今も椅子が、降ってくるんですね」と真顔で尋ねられた。「そんなことあるわけないだろう」と思いながら、誤った情報が流れていることを痛感した。入学後、その学区の生徒に「学校はどうや？」と尋ねると「悪いことを聞いていたけれど、どうもない」とかえってきた。この誤った情報がある限り、学校はよくはならない。このことが危機感となり、保護者へ正しい情報を伝えようという思いが「保護者と教師の語る会(小学校区別懇談会)」を開催するきっかけとなりました。正しい情報を知ってもらい、ありのままの八幡西中をみてほしいと願っています。



三上英夫校長先生



全体会の様子

〈流れ〉 全体会(校長、学年主任)⇒小学校区別分散会

まず、はじめに、この会への思いを三上校長先生が述べられ、学年主任の先生方が一学期の様子を語られました。要約を紹介します。

一学年(田中直美) 良くも悪くも元気、人懐こさがあり、「ありがとう」の言える生徒たちが多い。反面、遊びから発展する暴力的な行為も多々あり、嫌なことを言葉で表現できない。それをあおる生徒がいる。前向きな声かけができるようになり精神的な成長を望みたい。

二学年(山岡慶子) 正義感、責任感が持てるようになり取り組みを心懸けるなか学習面では、比較的、静かに落ち着いている。一方で問題行動もある。ただ、行為そのものは問題行動であっても、「していない」と言

った自分を先生が信じてくれたそのことに気づき「気まずい」と言える生徒がふえるとうれしいと思う。さまざまな場面に、一喜一憂しつつ、子どもの心をもっと育てなくてはならない。

三学年(八木睦子) 学習面は、「勉強しよう」という雰囲気がつくられており、生活面でも大きなトラブルはない。まわりから褒めてもらう場面が多くみられた。けれど、問題行動がないわけではなく、こうした行為にまわりから注意ができる姿勢をもてるようになってほしい。

*各学年、あふれる思いを語っていただき、この紙面で伝えきれないことが残念です。

〈小学校区別分散会〉 全体として、保護者・教師に、少年補導委員の方々が参加くださったことで、学年・立場・世代をこえて、また、経験・立場をふまえた貴重な意見を交わすことができたと思います。保護者からは、携帯・メールの扱い、親との会話が少なくなることへの対応(男親、女親の役割)、友だち関係(広く浅くのつきあい、真の友だちづくりができていないのか)などが多く、学年ならではとして、1年生は、部活と勉強の両立ができていない、3年生は受験を控えて勉強が心配などがあげられました。また、経験・立場をふまえた母親談、父親・母親としてのあり方談、市内の状況などもありました。参加者からは、大変、参考になった、学校の確かな情報、経験談が聞けた、自分の心配も解消できたなどの一方で、もっと多くの方が集まればよかったと思う、時間が短かった、校区別もいいが学年別もよいなどの課題も残りました。

最後に、「どんなに忙しいときでも聞くよという姿勢が大事」とK教諭。この言葉から思い浮かべた詩があります。デニス ウェイトリー (Dennis Waitley) の詩「子どもの話に耳をかたむけよう」 きょう、少しあなたの子どもの言おうとしていることに耳を傾けよう・・・で始まります。興味のある方は、検索してみてくださいね。また、信頼できる大人がひとりでもいる子どもは道にそれないとも言われています。あなたは、大人のひとりとしてどう考えますか・・・。